

68 期 1 学年 江風探究ユニット③（全 5 時間）について

「68 期 1 学年 江風探究ユニット 実施計画」（5 月職員会議資料）に基づいて、以下の通り、ユニット③（全 5 時間）を実施する。

探究テーマ：「新潟市からの挑戦状（5 テーマ）について、仮説を設定し、実証する！」

目 的：江風探究ユニット②で提示された「新潟市からの挑戦状（5 テーマ）」（※）について、仮説設定から結論に至るまでの一連の試行錯誤を通して、2 年次の課題研究にもつながるような仮説設定力、計画力、実証力、思考力を養う。

※新潟市からの挑戦状

（1 健康寿命延伸、2 雇用創出、3 農業・食文化の発展、4 持続可能な公共交通の構築、5 インバウンドの推進）

担当者：学年主任、1 年クラス担任・副主任など

方 法：各クラス 10 班（9 クラスで 90 班）を作り、グループ学習の形で仮説の設定と実証まで行う。5 テーマをそれぞれ 18 班ずつ（約 72 名）で分担して探究を行う。研究テーマとリサーチクエスト（研究全体で何を明らかにしたいのかを示す「問い」）を設定し、それに対して仮説（「答え」の予想）を作り上げる。次に、計画を立てて情報を収集し、仮説の真偽を検証する。最後に考察を行い、結論を出す。

	研究テーマ	リサーチクエストの例
	1 健康寿命延伸 【医療・福祉】	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市民の食塩摂取量を減らし、健康寿命を延伸するにはどうすればよいか。 ・新潟市民の野菜摂取量を増やし、健康寿命を延伸するにはどうすればよいか。 ・新潟市民の生活習慣を改善し、健康寿命を延伸するにはどうすればよいか。
	2 雇用創出 【経済・労働環境】	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市のまちなかを活性化するにはどうすればよいか。 ・新潟市の中小企業を発展させるにはどうすればよいか。 ・市内就労を促進し、20 代の若者の県外転出を防ぐにはどうすればよいか。
	3 農業・食文化の発展 【農業・食糧、文化】	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市の農業産出額を全国 1 位にするにはどうすればよいか。 ・新潟市の農林水産物の販路を拡大するにはどうすればよいか。 ・新潟市の食文化の魅力を高め、知名度を上げるにはどうすればよいか。
	4 持続可能な公共交通の構築 【都市環境・交通】	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車（マイカー）に頼らないまちづくりをするにはどうすればよいか。 ・新潟市の公共交通の利用を促進するにはどうすればよいか。 ・新潟市の交通渋滞を緩和するにはどうすればよいか。
	5 インバウンドの推進 【観光・伝統文化】	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市を訪れる国外（県外）からの観光客を増やすにはどうすればよいか。 ・新潟空港や新潟港を活性化するにはどうすればよいか。 ・新潟市の文化を国外（県外）に P R するにはどうすればよいか。

1 時間目（10 月 10 日（水）7 限）学年集会 1 時間

日 時：10 月 10 日（水）7 限 L H R（できれば 15 分延長して 40 分を 55 分に）

場 所：第 1 体育館

内 容：ユニット③の概要説明とテーマの選択

流 れ：次の①～④の手順で探究活動を行う。

①パワーポイントを用いて概要説明（15分） ※集会の隊形

②体育館を9ブロックに区切り、指定されたクラスの場所に移動する。各クラスで班ごとになって座って話し合い、5テーマのうちどれを選択するか決定する。各クラス2班（約8名）×5テーマ＝10班になるのが望ましい。学年全体で18班（約72名）×5テーマ＝90班。

③体育館を5ブロックに区切り、5テーマ（各72名）に分かれる。各ブロックで担当者が探究用のワークシートや各テーマの補助資料を各班に配布する。欠席者の分は、班長に渡す。（10分）

④最後に全体で補足説明や連絡を行い、解散。（5分）

備 考

- ・班分けは9月中に行い、名簿を作っておく。
- ・②の進行が捗るように、5テーマから1つ選択することを事前に知らせ、第2希望まで考えさせておく。
- ・最初に配る補助資料は、仮説を立てるのにある程度必要な、全員が共通認識として持っておいてほしいものに絞る。新潟市の作成したグラフやデータ、各省庁の白書などを中心に、学年団が用意する。
- ・生徒は次時までリサーチクエスチョンおよびその仮説を1つ考えてくる。

2時間目・3時間目（10月17日（水）午後振替6限・7限LHR）

17日の午後振替6限の授業をもらい、さらに次の7限LHRを使って、約2時間で下記を行う。

日 時：10月17日（水）午後振替6限および7限LHR

場 所：1～9組、および第4選択教室

内 容：テーマごとに分かれて、問題解決のための仮説を設定する。さらに仮説を証明するためにどのような資料が必要か、その資料をどのように収集するかなどの計画を立てる。

流 れ：次の①～⑧の手順で探究活動を2時間行う。ただし、6限と7限の間に休憩をとる。

①1健康寿命延伸は1組・2組教室、2雇用創出は4選・3組教室、3農業・食文化は4組・5組教室、4持続可能な公共交通は6組・7組教室、5インバウンドは8組・9組教室に集合する。担任や副任などの担当者が1～2名、各教室で指示や助言を行う。

②前回配布したワークシートと補助資料をもとに、各班で話し合い、リサーチクエスチョンを確定し、問題解決のための仮説（複数）を設定する。

③教室にいる担当者にワークシートを見せ、助言をもらう。（できれば複数の担当者から見てもらう。）

④その助言をもとに仮説を一つに絞り込み、担当者の許可をもらう。

⑤その仮説を証明するために、どのような資料が必要か、話し合う。必要に応じて担当者の助言をもらう。

⑥その資料を、いつ、だれが、どのように収集するのか、話し合う。必要に応じて担当者の助言をもらう。

⑦以上の活動をもとに、各自でワークシートを仕上げる。班ごとにワークシートを回収して提出。

⑧担当者より補足説明や連絡。解散。

備 考

- ・授業のカウントは、6限（午後振替）の授業と7限LHR（あるいは総合学習）とする。
（授業時間の拠出について、ご理解ご協力をお願いします。）
- ・ワークシートは担当者がチェックし（必要に応じてコピーをした）のち、各クラス担任に渡す。ワークシートは10月18日（木）のSHRに返却。
- ・仮説を実証するために必要な資料は、生徒が各自のできる範囲でインターネットや図書館などを利用して調べ、ワークシートにメモをする。10月31日までの宿題。その際に、参考にした文献は著者名・書名・出版社（ネットの場合は作成者・Webページタイトル・URL）なども記録させる。
- ・学年団の方でも、新潟市と連絡をとりあい、新潟市からアドバイスをもらう。また、生徒が必要とする資料について、できる範囲で情報を収集しておく。（生徒には伏せておく。）

・翌週の10月24日（水）7限は、通常のLHRを行う。可能であれば、学年通信などを使って、2年次の課題研究（SSG）について説明を行う。あるいは、1・2年合同で、2年の課題研究についてポスターセッションを行う。

4時間目・5時間目（10月31日（水）6限授業・7限LHR）

31日の6限授業をもらい、さらに次の7限LHRを使って、約2時間で下記を行う。

日 時：10月31日（水）6限授業および7限LHR

場 所：1～9組、および第4選択教室

内 容：前時同様、テーマごとに分かれて探究を行う。各自が調べてきた資料をもとに、グループで仮説の実証を行う。それに基づいて考察を行い、結論を出す。

流 れ：次の①～⑦の手順で探究活動を2時間行う。ただし、6限と7限の間に休憩をとる。

① 1健康寿命延伸は1組・2組教室、2雇用創出は4選・3組教室、3農業・食文化は4組・5組教室、4持続可能な公共交通は6組・7組教室、5インバウンドは8組・9組教室に集合する。担任や副任などの担当者が1～2名、各教室で指示や助言を行う。

② ワークシートと補助資料、さらに各自が調べてきた資料をもとに、各班で話し合い、仮説の実証を行う。

③ 各班で考察を行い、結論を出す。その後、担当者から見てもらう。担当者は良い点と悪い点を指摘する

④ その助言をもとに再度考察を行い、ワークシートを完成させる。

⑤ 担当者はアンケートを配布する。江風探究ユニット③の振り返りを行う。

⑥ ワークシートとアンケートを班でまとめて、担当者に提出する。

⑦ 担当者より補足説明や連絡。解散。

備 考

・授業のカウントは、水曜6限の授業と7限LHR（あるいは総合学習）とする。

（授業時間の拠出について、ご理解ご協力をお願いします。）

※ただし7月24日（火）4限、10月17日（水）6限午後振替、10月31日（水）6限の3時間で、特定のクラス・教科が2時間以上の拠出にならないよう、授業変更をするなど、配慮したいと思います。該当の先生方には、あらためてお願いにいきますので、よろしくお願いします。

【参考】

・7月24日4限……1－1古典（関口）、1－2数学（藤塚）、1－3・4体育（梅野・長島）、1－5EC（高橋美）、1－6古典（阿部）、1－7現代社会（高橋輝）、1－8数学（高橋峰）、1－9EC（佐藤豪）

・10月17日（水）6限午後振替……1－1EC（高橋美）、1－2生物基礎（奈良）、1－3数学（桑原）、1－4EC佐藤智、1－5数学（青木）、1－6数学（清水）、1－7生物基礎（土屋）、1－8数学（高橋峰）、1－9（佐藤豪）

・10月31日（水）6限……1－1生物基礎（間島）、1－2数学（藤塚）、1－3現代社会（松本）、1－4現代文（関口）、1－5・6体育（清水）、1－7現代社会（高橋輝）、1－8世界史（柳澤）、1－9生物基礎（奈良）

※傍線部のクラス・教科が2回以上となるので、現代文などと授業変更をしたいと思います。

・ワークシートは担当者がチェックして、学年主任に渡す。学年主任はPDF化したのち、各担任に返却。担任はクラスの生徒に返却する。10月末まで。

・江風ユニット③で行ったことが「新潟市からの挑戦状」に対する回答となる。11月の現代文の時間やLHR、放課後などを利用して、ユニット③の内容をポスター形式でA3用紙1枚にまとめる。11月末までに仕上げる。それを新潟市に送付し、さらに12月にポスターセッション等の形式で発表をしたい。

68 期 1 学年 江風探究ユニット 実施計画【抜粋】

県立新潟南高等学校 SSH 総務部 主任 新野 貴大

（１）江風探究ユニット展開と、主として身に付けさせたい能力について

	資料を 活用する能力	探究力					
		課題発見力	仮説設定力	計画力	実証力	考察力	表現力
①	◎						
②		◎	◎				
③	○		○	◎	◎	◎	
④							◎
⑤		○	○	○	○	○	◎

（２）取組の内容

【ユニット①】 実施：４月～５月

- 国語総合の授業３時間で実施。図書館と連携し、**文章読解力**や**資料を活用する能力**等を身に付けさせる。
- クラス単位でスピーチによる発表を行う。

【ユニット②】 実施：７月４日(水)・７月末（23日(月)・24日(火)のどちらかで１時間）

- ７月４日(水)LHR。４名程度×10班（５テーマ×２）で実施。生活する中で感じる新潟市の課題と、そう感じる根拠**（課題発見）**、および、それを解決するための方策として考えられること**（仮説設定）**を、A3で１枚程度にまとめる。資料は用いず、ヒントも与えない。発表はクラス単位で任意。
- ７月末に新潟市の担当者による講演会を実施。ここで、『新潟市からの挑戦状』（分野振り分けなどはこちらで作成したもの）を生徒に向けて提示していただく。

【ユニット③】 実施：２学期中間考査終了後（10月初旬～中旬）

- ユニット①における『新潟市からの挑戦状』を受け、各クラス４名程度×10班で各班一つずつテーマを担当する。以下のテンプレートを当てはめたワークシートを用いて探究活動の流れに沿って展開する。

◇	（仮説設定） ：どのような方策により、どのような効果があるかを考え、提案する。
◇	（計画） ：仮説の裏付けをするためにどのような資料を収集するかを検討する。
◇	（実証） ：収集した資料から、仮説の裏付けとなるデータを抜き出し、集約する。
◇	（考察） ：データの分析から、仮説の真偽を検証し、結論づける。

- ワークシートの写しを新潟市の担当者に送付する。

【ユニット④】 実施：２学期末考査終了後（12月初旬～中旬。スピーチコンテストは10月頃実施）

- ユニット③で出した結論を、模造紙１枚にまとめてポスターセッションを実施する**（表現）**。学年単位。新潟市の担当者に評価者として参加してもらう。
- 英語科の授業と連携し、スピーチコンテストを活用する**（表現）**。

【ユニット⑤】 実施：学年末考査終了後（2月下旬以降）。入検期間の課題も兼ねる

- ユニット④までの内容を、テンプレートに従って簡潔に論文形式でまとめる**（表現）**・**（まとめ）**。班単位の活動ではなく、各自で取り組む。
- 論文の写しを新潟市の担当者に送付する。